

令和5年度

三沢市教育委員会
会 議 録

9 月 定 例 会

三沢市教育委員会 令和5年度 9月定例会

1 日 時 令和5年9月28日(木) 14時00分 開会
14時37分 閉会

2 場 所 三沢市役所 別館4階 第1研修室

3 出席委員

教 育 長	山 内 康 之
委 員	本 江 宏
委 員	黒 沢 のぞみ
委 員	松 森 まゆみ
委 員	小 向 香 織

4 出席職員

教育部長	田 辺 正 英
教育総務課 参事兼課長	岡 部 章 典
教育総務課 副参事兼課長補佐	和 久 美登里
教育総務課 副参事兼課長補佐	池 田 修
学務課 課長	木 村 友 昭
学校教育課 課長	藤 田 文 明
学校教育課 課長補佐	松 坂 進
生涯学習課 課長	舘 郷 司
生涯学習課 課長補佐兼生涯学習係長	柿 崎 竜 平
学校給食センター所長	石 井 聡
学校給食センター所長補佐兼施設係長	小比類巻 政光
教育総務課 教育総務係長(書記)	宮 木 ひと美

5 傍聴者 2名

6 議事日程 別紙のとおり

【別紙】

三沢市教育委員会 令和5年度9月定例会 議事日程

開会

第1 会議録署名委員の指名

第2 会期の決定

第3 前回会議録の承認

第4 報告案件

報告第6号 令和5年三沢市議会第3回定例会について

報告第7号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

報告第8号 令和5年度教育長の主な活動報告（8月～9月）について

第5 その他

閉会

○開会

■山内教育長

ただ今から、令和5年度9月定例教育委員会を開会いたします。それでは、お手元に配付してある議事日程により、会議を進めます。

○日程第1 会議録署名委員の指名

■山内教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、黒沢委員と小向委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

○日程第2 会期の決定

■山内教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日28日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

○日程第3 前回会議録の承認

■山内教育長

前回、会議録の承認について、お諮りいたします。前回の会議録は、お手元に配付しておりますが、会議録のとおり承認としてよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、承認といたします。

○日程第4 報告案件

■山内教育長

続いて報告案件に移ります。報告第6号 令和5年三沢市議会第3回定例会についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

■教育部長

私からは、市議会第3回定例会における教育委員会所管に係る、一般質問と答弁内容についてご報告いたします。今回は、春日洋子議員から子どもの読書活動の推進について、学校図書館の図書標準の達成率と廃棄・更新、小中学校での新聞の配備と活用状況、学校司書の配置拡充の3点の質問がございました。まず、1点目の図書標準の達成率と廃棄・更新については、令和4年度末現在の小中学校の蔵書冊数は11万3,857冊であり、充足率は小学校が107.8%、中学校が111.4%となっており、充足率が100%以上の学校を示す割合である達成率は、小学校が85.7%、中学校は100%、全体では91.7%となっており、また、廃棄については国が定める廃棄基準に基づいて行っているほか、更新は図書担当教諭と学校司書が選定し、随時更新を行っているとお返しております。次に、2点目の学校への新聞配備の状況等については、平成29年度から教育委員会が補助する形で、各校が希望する新聞を配備しており、小学校では、感想や意見文を書く練習、調べ学習をする際に活用しており、中学校では、記事についての意見交流や思いやりや助け合いの心を持つ大切さに気付かせることに活用するなどしていると回答しております。3点目の学校司書の配備拡充については、平成30年度から学校司書2名を配置し、令和3年度から3名に拡充している、

また、学校司書が図書館貸出のデータ管理や蔵書整理などを行うことで、児童生徒1人当たりの貸出冊数が増加している、今後も情報交換を行うなど、読書活動の推進に努めるとともに、さらなる拡充に向けた調査・検討を進めていくと回答しております。これに対し、春日議員からは、読書の記録などを残すことにより、子どもたちも振り返ることができるのではないかとの再質問があり、教育委員会では令和2年度から読書ミラクル9事業を実施しており、学校図書館から借りた本をデータベース化し、児童生徒1人1人に配布している、それをファイリングすることにより、小中9年間の読書記録を振り返ることができるようにしているとの回答をしております。以上が第3回定例会での一般質問の概要でございます。なお、詳細につきましては資料の方にも添付しておりますので、後ほどご覧いただければと思います。以上となります。

■山内教育長

ただ今の説明に対し、委員の皆様からご質問等がございますでしょうか。

■黒沢委員

2ページに充足率が100%に満たない学校が1校と記載ありますけれども、この学校についての今後の予定などがもしありましたら、充足が進むのかどうかを教えてくださいたいです。

■教育総務課長

ただ今のご質問にお答えいたします。まず、充足率100%に満たない学校につきましては、木崎野小学校になります。過去5年間に遡りますと、80%前半から今現在91.9%と徐々に充足率が上がってきているという状況でございます。こちらの方も児童生徒の増減が

あったり、そういったものもございますので、使えなくなったものを廃棄したり、新たに購入したりということで、多少増減はするものの、一応今後につきましても伸びていくのではないかなということで、こちらは想定しております。以上です。

■山内教育長

他にございますか。ないようですので、報告第6号 令和5年三沢市議会第3回定例会についての報告は終わりいたします。

続いて、報告第7号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果についてを議題いたします。事務局より説明をお願いいたします。

■学校教育課長

報告第7号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について説明いたします。

お手元の資料をご覧ください。この調査は、令和5年4月18日に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語と算数・数学、さらに中学校では英語を加えた3教科で実施されました。①教科に関する調査の結果は、小学校中学校ともに実施全教科で、全国比100%以上となりました。特に小学校では算数、中学校では英語の全国比が高くなりました。次に、②質問紙調査の表をご覧ください。(1)では小中学校ともに全国比100%を上回っている項目から当市の特徴的な項目を取り上げてみました。当市の子どもたちは、将来の目標をもっている子が多いことが分かります。また、普段の授業では、ICTが効果的に使われたり、話し合い活動を通して考えを広げたり深めたりしている割合が、全国より高い結果となりました。(2)は全国比を下回っている項目になります。自分で計画を立てて家で勉強する割合と、学校の授業以外で平日に1時間以上勉強している割合が全国比より低く、課題と考えております。今後とも、子どもたちが夢や目標に向

かって努力できるような環境づくりと、ノートに書いたり、互いの顔を見て伝え合ったりする従来の指導と、タブレット端末を用いた指導をバランス良く組み合わせた授業づくりを支援して参ります。以上です。

■山内教育長

ただ今の説明に対し、他にございますか。

ないようですので、報告第7号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果についての報告は終わりいたします。

続いて、報告第8号 令和5年度教育長の主な活動報告、8月から9月を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

■教育総務課長

報告第8号 令和5年度教育長の主な活動報告（8月～9月）について、ご報告いたします。令和5年8月の主な活動につきましては、5日（土）は、県立三沢航空科学館開館・大空ひろば開園20周年記念式典に出席しました。8日（火）は、市内小中学校にて行われた第22回花壇コンクールの審査に出席しております。17日（木）は、国際交流教育センターにて行われた令和5年度三沢市戦没者追悼式に出席しております。22日（火）は、4年ぶりに再開されたウェナッチバレー使節団との交流事業に係る歓迎セレモニー及び来訪歓迎会に出席しております。25日（金）は、国際交流教育センターにて行われた東部地区中学校英語スピーチコンテストに出席しております。28日（月）から9月1日（金）まで、「輝く笑顔推進キャンペーン」が行われ、市内各小中学校で声掛け活動を行っております。今回は三川目小学校、第一中学校、三沢小学校と第二中学校、木崎野小学校、古間木小学校でそれぞれ声掛け活動を行いました。続いて9月ですが、4日（月）から15日（金）までの日程で、三沢

市議会第3回定例会が開催され、開会、一般質問に対する答弁書検討会、一般質問、令和4年度決算審査及び補正予算特別委員会、閉会にそれぞれ出席し対応を行っております。16日（土）は、公会堂にて行われた第57回三沢市敬老会に出席しております。22日（金）は、三陸温泉駐車場にて行われた市交通死亡事故抑止街頭活動に参加しております。24日（日）は、総合社会福祉センターで行われた第18回社協まつりに出席しております。25日（月）は、三沢空港にて三沢市姉妹都市友好親善使節団の出発式に出席しました。27日（水）は、市連合PTAから、児童生徒が安全に通学できるよう改善を求める安全確保プロジェクト改善要望書の手交式を行っております。以上で説明を終わります。

■山内教育長

それに付随して、ご説明申し上げたいと思います。まず、8月の2番目、4日に行われました、三本木中学校の藤田校長来庁というふうなことでありますけれども、藤田校長は、上北地方小中学校長会連絡協議会の会長さんでいらっしゃいます。元上北教育事務所の次長さんでいらっしゃった方でございます。案件は、上十三地区教育懇談会の廃止についてということでございます。これまで管内教育長と管内の小中学校の校長先生とで懇談会を開催しておりました。令和2年度にこの協議会での懇談会の廃止の相談があったわけでありまして、市町村教育委員会連絡協議会の教育長会から、継続してほしいとの要望があつて、そのまま継続してきたものであります。以後、コロナ禍を経て、見直しの機運が高まって、廃止の方向を考えざるを得ない、という段階に来たというふうなことであります。その理由にまず一つは、管内の教育の現状は、随時適切に情報共有されて

おりまして、また多くの市町村において、指導主事等を配置するなどして、年に一度、教育懇談会を開催することの意義が薄れてきているというふうなことであります。二つ目に、学校における働き方改革を推進するためには、校長が担う業務の大胆な精選が必要であるため、というふうなことで、この理由を全教育長で、本日、この時間帯に七戸町で教育懇談会が行われておりますが、その席で会が終了する間に、この廃止を提案したい、というふうなことであります。全員一致で廃止に賛成しておりましたので、本日この会が終わり次第、廃止が決定するものと思われま。その下地をならすために、藤田会長さんがいらしたものであります。次に9月の19番、昨日であります27日、市連合PTA安全確保プロジェクト改善要望書提出というふうなことであります。千葉県の八街市で、下校中の小学生5名がトラックに轢かれて死傷した事故から2年が経ちました。また、昨年思いもよらない通学路の事故がおいらせ町でありまして、道路標識の根元が腐食していたため、倒れて児童のランドセルに接触した事故もありました。また、新聞によりますと、一昨日も福井県の鯖江市で、ブロック塀が崩れて、小6の児童が骨折する事故があったようであります。これら通学路で、対策を講ずべき危険箇所は、令和4年12月時点で7万6,404箇所のうち、6万1,637箇所が対策済みであり、80.7%ということであります。三沢市においては、昨年度、新規15件、継続22件の要望を賜りまして、これら全てに対応しております。今年度は、新規16件、継続27件でありまして、今後10月になりますが、対策会議を開いて、対策を講じる予定でございます。ここ数年来、三沢市の道路事情も変化してきておりまして、改善箇所も増加していくことも考えられております。昨日の会議で、要望いただきました

箇所を適所に振り分けて、落ちのないように対策を講じていきます。そして、子どもたちのかけがえのない命を守っていききたいということ述べて、昨日の会議を閉じております。以上でございます。

■山内教育長

ただ今の報告対しまして、委員の皆様方からご質問等はございますでしょうか。

(「なし。」と声あり)

それではないようですので、令和5年度教育長の主な活動報告、8月から9月の報告は終わりいたします。

○日程第5 その他

■山内教育長

続いて、その他に移ります。

委員の皆様にお知らせする事柄をお手元に配付しておりますので、教育総務課から順番にお願いします。

■教育総務課長

ございません。

■学務課長

ございません。

■学校教育課長

学校教育課から、その他の報告事項を説明します。(1)令和5年度「ゆめチャレ教室！」です。この事業は、地域の教育力を活用し、子どもたちが「ゆめ」実現に向かって、日々の学習や生活に意欲的に取り組むことを目標に開催いたします。日時は10月18日、三沢市公会堂の大ホールで市内全小学校6年生全員を対象に実施する予定です。また今年度は、希望する保護者の方の参観も受

け入れます。パネリストは、地元で活躍されている方の中から、そこにありますように警察官の方、IT企業の方、シンガーソングライターの方、看護師の方の計4人の方をお願いしました。それぞれの仕事の様子について映像を用いて紹介した後、パネルディスカッション形式で、事前に子どもたちから募った質問事項を中心に話していただきます。続いて(2)、ゆめチャレ教室終了後、後半は「子どもにとってのねむること」と題して「生き生き健康講話」を実施いたします。講師は公立七戸病院 小野 正人院長様にお願いしてございます。こちらは、「眠育・食育のススメ」推進事業の一環として、健康で依存に負けない生活習慣づくりの一助として行うものです。以上です。

■生涯学習課

令和5年度東北地区社会教育委員連絡協議会及び青森県社会教育委員連絡協議会表彰の受賞者が決まりましたので、お知らせします。東北地区の受賞者は、石坂 敏夫委員で、平成26年4月から議長を務めています。青森県の受賞者は、馬場 せつ子委員、松葉 たか子委員、垂井 則子委員、沼田 巖委員、林 光利委員の計5名の方が受賞者となりました。次に、第7回三沢市文化財講座「小川原湖民俗博物館旧蔵資料展」を開催いたします。開催日時ですが、10月7日、8日の2日間に渡って、両日ともに9時30分から15時30分まで開催いたします。場所につきましては、六川目団体活動センターにて、旧古牧温泉渋沢公園内に併設されておりました小川原湖民俗博物館で展示されていた民俗資料を一般公開いたします。入場料は無料で、事前申込不要です。両日とも14時から展示の解説、併催イベントとして縄文カードがもらえる民俗くいずを実施いたします。以上です。

■学校給食センター

ございません。

■山内教育長

ただ今の報告に対しまして、委員の皆様から、ご質問等がございましたらお願いいたします。

ないようですので、その他については終わりといたします。

最後に委員の皆様から委員会事業について、確認したいことやご意見、ご感想などをお願いいたします。

それでは小向委員からお願いいたします。

■小向委員

報告案件お疲れ様でした。案件とは別にですね、先日YouTubeで、青森県広報広聴課のオンラインであった、県教育改革会議を見させていただきました。今月の25日で第4回までやっておりました。第2回目の時にですね、県外の先生からのお言葉だったんですけど、「先生のゆとりは、子どもの輝きに直結する。」っていう、とっても素晴らしい言葉がすごく印象的でした。校長先生と教育委員が語る会でも感じたんですけど、ワーク・ライフ・バランスの考えを基に、幸せになる教員の先生方が1人でも増えたらと、また学校現場と行政の信頼関係の重要性っていうものを、すごく深く重く感じました。引き続き皆様には、どうぞよろしくお願ひしたいなと思ひました。以上です。

■松森委員

中体連新人戦が天気も良くて、予定通り行われたことが、とても良かったなと思ひます。三沢市の子どもたちは、大変よく頑張ったなと新聞を拝見して感じました。毎年、子どもたちを食の方から応援してくださっている、給食セン

ターの方のお力添えもあったと思います。いつもながらありがとうございます。数年ぶりに、各中学校では職場体験が実施されたようで、私の職場にも3名の生徒が来てくれて、挨拶も礼儀もとても正しく、詳しく把握してくれて、一度覚えた仕事を友達に教えるっていう姿も見受けられて、素晴らしいなと思いました。子どもたちの立派な姿は、きっと保護者の方のおうちでの教育とか、先生のご指導もあってのことだと思うので、素晴らしい方々に支えられているな、というふうに感じました。働いている大人にとっても良い刺激になったようで、うちの会社では、ガスボンベを取り扱っているのですが、子どもたちは、重いガスボンベを軽々しく持ち上げている従業員の姿を見て、おお、超人だ、と声をあげていました。いつも何気なくやっている仕事を評価してもらったようで、従業員のモチベーションも上がったようでした。お互いにとって良い体験だったなと、これからもこの職場体験を続けていただければなと思い、また、子どもたちの未来にも繋がる出会いがあればいいなと願います。

■黒沢委員

職場体験については、私の職場でも2名の生徒がいらっしゃって、子どもたちにとっての経験と大人側が受ける想いっていうものが繋がって、地域がつくられるのかなと思いました。何年か前は、市内の学校でも取り組んでいない学校もあったと思うんですね。事情もおありだとは思いますが、子どもたちの経験に差があるっていうのは、子どもたち自身ではどうにもならないことですので、今現在はちょっとわかりませんが、前向きにすごく良い企画だと思いますので、今後も取り組んでいただけたらと思います。学習状況調査で、例えば1時間以上勉強していますかっていう設問で、全国でも57%の回答率で、設問そのものに質問の

意味が本当にあるんでしょうかと。なので、その1時間っていうことが到達目標なのか、ある程度そこに根拠があるものなのか、子どもたちの生活リズムも変わってきていますし、そこはそこで三沢の子どもたちにとって、必要であるならば必要な形で子どもにも理解できるように、子どもたちそれぞれの能力に差がありますので、その子どもたちが前向きにいられるような、働き方改革の話にもありますけれど、自分たちで頑張れるリズムっていうところもご配慮いただけたらな、というふうには思います。青森県で今、幼児教育センターが県の教育委員会の中に8月作られました。そこに今年は、幼児教育アドバイザー4名が配属になりまして、主に保育園や幼稚園側の人間なんですけれども、手を挙げた方のところに出向いて、参観し、質疑応答を受けるというようなサービスをしております。その対象が小学校も入っており、必要であるならば、ぜひご活用いただきたいなと思います。あと、本とか新聞っていうところに関しても、確実に今の子どもたちは、親世代よりも本に触れる時間も増えてはいると私は思います。活字新聞に関しては、多分毎年足りないってずっと言われて、自分たちの時代も、活字離れと言われていた子どもだったので。ただ、新聞の良さは、インターネットで興味のあるものは深められるが、興味のないものは触れる機会にはならないが、新聞は興味のないものもあるので、自分の新たな興味に繋がる場面に出会う、また興味が広がる一つの媒体なのかなというふうには思いますので、何か子どもたちが、自分たちの興味を広げられることにも活用していただけたらな、というふうに思いました。以上です。

■本江委員

先週まで、子どもたちは半袖短パンで登校してましたが、今週の月曜日には、冬服を着

てましたね。その辺も臨機応変に対応しているなっていうことで、非常に安心しました。それから、先程申してましたけども、子どもたちの学力が非常に伸びているというようなことで、やっぱり学校と委員会が協力一致しているといえますか、団結してるっていう感じがすごくします。多分、学校教育課ももちろんでしょうけども、色んな学校からの要望とか、またそういったことに答える先生たちとか、子どもたちとかっていうようなことで、非常に良い方向に動いているのではないのかなっていう気がします。それから、今週あたりから急に暗くなってきています。これから文化祭の準備で、子どもたちの下校時間が遅くなるわけではないでしょうが、日が早いものですから車のライトとか、また色んな所で危険性が増すと思います。テレビでは、ヘルメットがどうだ、こうだって一生懸命やっておりますけども、ヘルメットに関しては、中学生、小学生が見本になって着用が進んでいけばなと思っていました。先程、中体連の話が出ましたけど、中体連、大変だと思えます。特に新人戦でかなりの学校が一緒にならないと対戦できないというようなことで、今後、ますます地域と上手く合体するっていうか、そうしないと子どもたちが運動出来なくなっていくのかなと心配していますので、協力していただければと思います。よろしくお願いします。以上です。

○閉会

■山内教育長

ありがとうございました。以上で、日程は全て終了いたしました。

これを持ちまして、9月定例教育委員会を閉会いたします。

10月の定例会の日程でございますが、10月26日、木曜日、午後2時に開催したいと考えておりますがいかがでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、ご異議ございませんので、10月定例会は、10月26日、木曜日、午後2時からいたしますので、よろしく願いいたします。

閉会 14時37分

■会議録署名者

教育委員 黒 沢 のぞみ

教育委員 小 向 香 織

書 記 宮 木 ひと美